

## ○四日市市長コメント

四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業について、本日、国土交通省から令和3年度予算での新規事業化が発表されました。

四日市市では、これまで、「四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会」の一員として、国会議員の皆様や港湾事業者をはじめ関係者の皆様と共に、北埠頭81号耐震強化岸壁の必要性を訴えてまいりました。

そのような中で、今回の新規事業化により、四日市港においてコンテナ船用の耐震強化岸壁が整備されることで、四日市港におけるサプライチェーンの強靱化、災害対応力の強化が実現し、四日市港が大規模地震に対応する強靱な港として、多様なものづくり産業の成長と発展を物流面で支え、更なる発展につながることを期待しております。

今回の事業化に際し、ご尽力いただきました国、関係国会議員の皆様、関係事業者の皆様には心より感謝申し上げます。

四日市市としては、今後も国、県、四日市港管理組合、そして地域関係者とも緊密に連携し、円滑に事業が進捗し、早期整備が図られるよう全力で協力して参ります。

令和3年3月30日

四日市市長 森 智広